

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月9日

【評価実施概要】

事業所番号	0172901951		
法人名	有限会社 オフィスキタノ		
事業所名	グループホーム 幸		
所在地	北海道旭川市春光台4条9丁目4番地5 (電話) 0166-55-1733		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年11月9日	評価確定日	平成19年11月19日

【情報提供票より】(平成19年10月17日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年12月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	15人, 非常勤 人, 常勤換算10.15人

(2) 建物概要

建物構造	木造軸組構造 造り		
	2階建ての 1~2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000・18,000 円	その他の経費(月額)	18,000~23,000 円	
敷金	有() 円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有) 150,000 円)	有りの場合 償却の有無	(有) / 無	
食材料費	朝食	400 円	昼食	300 円
	夕食	500 円	おやつ	180 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(10月17日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	2 名	要介護2	1 名		
要介護3	6 名	要介護4	7 名		
要介護5	2 名	要支援2			
年齢	平均 78.9 歳	最低	68 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	相川記念病院、奈良歯科医院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム内では、シーズー犬の子犬やミニ豚が飼われ利用者や職員の癒しとなっています。また、利用者が共有スペースに集い職員とレクリエーションを楽しんだり、明るい家庭的雰囲気が感じられると共に廊下には観葉植物が多く利用者が栽培を楽しみにしていたり、趣味への支援など一人ひとりの暮らし方の希望や意向の把握に努められています。フラワーロードへの参加で花壇の草取りや花の抜き取り作業に参加したり、祭りや盆踊りなどの地域の行事へも積極的に参加して認知症に対する理解や啓発に努められています。また、経営者と職員の意思疎通を図るために意見交換の場をホーム外で持つなどケアサービスの質の向上に取り組んでいる姿が伺えます。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、緊急時の対応について改善点が見出されていましたが、防火管理責任者の資格者を配置して、火災避難訓練が年2回実施され設備の点検も実施されています。また、運営推進会議に於いても地域との連携について意見交換がされています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、全ての職員が参加して管理者と共に評価の意義を確認し理解を深めケアサービスの質の向上に利用されています。また、自己評価及び外部評価の結果については運営推進会議に報告され改善の機会として取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、評価日現在3回実施されています。主な主題については外部評価について ホーム主催行事及び町内会行事参加について インフルエンザ予防接種について 地域との連携について 運営推進会議の意見・要望や取り組みについて
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 毎月「グループホーム幸だより」を発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、健康状態を家族に報告して、意見や苦情・不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。また、金銭出納帳で金銭管理を報告したり、家族が意見を言い易いように「意見ノート」を作成するなど運営に反映されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域住民の一員として、町内会に加入して清掃活動やフラワーロードへ参加をするなど地域の人達との交流が図られています。また、近隣の福祉施設の催事への参加や相互訪問などでの交流や散歩、運営推進会議に地域の役員の参加を呼びかけるなど日常生活を通じて地域との連携が行われ認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着サービスとしての独自の理念をつくりあげ、利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして職員間で共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は理念を共有し、毎月開催されるミーティングで確認している。また、理念を玄関入り口や共有部分に掲示して来訪者にも分かりやすく明示している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域住民の一員として、町内会に加入して清掃活動やフラワーロードへ参加をするなど地域の人達との交流が図られています。		近隣の福祉施設の催事への参加や相互訪問などでの交流や散歩、運営推進会議に地域の役員の参加を呼びかけるなど日常生活を通じて地域との連携が行われ認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、全ての職員が参加して管理者と共に評価の意義を確認し理解を深めケアサービスの質の向上に利用されています。また、自己評価及び外部評価の結果については運営推進会議に報告され改善の機会として取り組まれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在3回開催されている。メンバーは利用者、家族、地域の住民代表、医師、事業者及び管理者・職員で構成され、利用者やサービスの実際、評価への取り組みについて具体的にサービス向上に活かしている。</p>		<p>今後はさらに、包括支援センター、警察、消防など積極的に働きかけて地域の人達も参加した運営推進会議の開催など計画されています。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は、市担当者との連携の重要性を認識して、サービスの質の向上に日々取り組んでいる。</p>		
<p>4. 理念を実践するための体制</p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月「グループホーム幸だより」を発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、健康状態、金銭管理を家族に報告して、意見や苦情・不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族が来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取り組んだり、家族が意見を言い易いように「意見ノート」を作成するなど気軽に意見や苦情・相談ができる環境整備に心掛けそれらを運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>玄関入り口に写真で職員の紹介をしたり、居室入り口に担当職員を写真で紹介するなど家族や来訪者に明示をしている。また、管理者は職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業者は、研究会など外部の研修参加を積極的に奨励して、参加者の報告会で他の職員に伝えフォローアップしている。また、看護師などによる職場内研修やOJTの実施が行われ職員を育てる取り組みがされている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研究会に参加して、同業者との交流が行われケアサービスの質の向上に取り組まれている。また、他施設との職員の相互訪問など徐々に行われています。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して納得した上でサービスが利用できるように入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、利用者と一緒にゲームを楽しんだり、犬や子ブタの世話をするなど利用者の過去の大事な出来事や生活歴を把握して、本人の気持ちになった支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	利用者一人ひとりの意向を把握して、近隣への散歩や買い物で金銭を使う場面を見出したり動物の世話や観葉植物の水遣り、縫い物、草刈、オセロゲームなどの趣味への支援や食の嗜好の把握など本人の希望や意向を尊重した取り組みが行われている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	介護計画は、介護支援専門員の適切な監理のもとに作成されており、利用者、家族の希望や医師・看護師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画書は、3ヶ月に一度計画的に見直しが行われています。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況に応じて、通院の送迎や要望のある場合には散歩や買い物、ドライブなど柔軟に支援を行っている。また、地域行事への参加や喫茶店訪問など時々々の要望にも対応されています。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者を良く知る看護職員が配置されていたり、利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、状態変化などについても歯科・内科医の往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医師と連携して利用者・家族とも段階的に相談しながら慎重に検討対応するよう対応指針を定め、職員間で共有される取り組みがされている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した配慮がされた取り組みが行われ、尊厳やプライバシーを尊重して声かけをするなど取り組まれています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを尊重して散歩やスーパーでの買い物、縫い物やゲームなどの趣味への支援、草刈や動物の世話など本人の希望や意向に沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は、利用者一人ひとりの嗜好を把握して、食事が楽しみになるように支援している。食事中は、和やかな雰囲気ですぐに笑い声が聞こえて家庭的雰囲気が感じられた。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は、決めずに週2～3回を目安に利用者の希望や健康状態に応じて対応している。また、ゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	アセスメントに基づいて、利用者一人ひとりの過去の大事な出来事や生活歴が把握され、縫い物や草刈、フラワーロードの花壇の手入れ、雪かき、ドライブ、祭りなどの地域の行事参加、散歩や買い物など気分転換のための外出の機会も多くつくられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	スーパーでの買い物、散歩、白鳥見物、喫茶店などでの甘味の食事、近隣施設でのコンサートなどの行事参加、ドライブなど気晴らしが出来るように日常的な外出が支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の出入りは、職員が見守り鍵をかけないケアに取り組む利用者が外出する時は、安全面で配慮されています。また、身体拘束委員会も組織され職員間で共有され取り組まれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	防火管理者が配置され、緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように火災避難訓練が年2回実施されています。また、消火設備等についても点検が実施され対策されています。		今後は、運営推進会議等で案内して近隣の住民も参加した火災避難訓練を実施する計画がされています。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	具体的な水分・食事摂取量を摂取カロリー表に記載され、栄養バランスや摂取カロリーについてもおおよそ把握され支援されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	廊下には椅子やテーブルが配置され利用者が一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保されている。また、広いリビングの窓からは季節感が感じられ新緑や紅葉が映える建物の構造となっている。利用者にとって不快な音の大きさや臭いは感じられず、リビングに集い笑い声が良く聞こえ家庭的雰囲気を感じられた。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室入り口には、担当者の写真が明示され家族や来訪者に分かりやすい工夫がされている。また、居室には仏壇やテレビ、冷蔵庫、使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となるように工夫され、一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。